

事業名		和光北インター東部地区まちづくり推進			事業コード	1177030	計画コード	9-1-1
款	08	土木費	項	03	都市計画費	目	01	都市計画総務費
所属名(部局・課)		建設部		都市整備課		担当名	区画整理担当	
施策		9-1	交通の利便性を生かした産業拠点の創出					

### 1. 事業の概要

事業の対象	和光北インター東部地区事業区域地権者及び関係権利者
意図・目的	和光北インター東部地区において優良なまちづくりを推進する。
活動概要	和光北インター東部地区における土地区画整理事業化を推進する。

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① (仮称)和光北インター東部地区土地区画整理組合設立認可	%	70	80	90	100	100	—
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費	千円	89,344	37,532	6,793		4,458	不用額
		千円	85,792	36,267	6,793		0	
	財源内訳	千円	85,792	36,267	6,793		執行率	
		千円	0	0	0		100.0%	
成果の説明	<p>平成28年7月に発起人から市長へ、「国道254号バイパスの都内延伸と沿線地域の一体的な整備に関する要望書」が提出された。市としてもこの趣旨に賛同し、和光北インター東部地区のまちづくり推進について支援し、地権者による検討組織である(仮称)和光北インター東部地区土地区画整理組合設立準備会と共に産業基盤整備の検討を進めているところである。</p> <p>平成31年4月には組合設立準備会総会により、業務代行予定者が決定された。</p> <p>令和元年9月に基本設計等業務委託を発注し、繰越明許により令和2年度までかけて、関係機関協議を進めながら、設計を進めた。</p> <p>令和2年3月に埼玉県より、地区内を横断する国道254号バイパスの延伸が埼玉県により都市計画決定されたため、上記設計に反映した。</p> <p>令和3年1月に地域分断対策検討等業務委託を発注し、国道254号バイパス延伸による地域分断対策を検討している(繰越明許)</p> <p>令和3年度は午王山土砂災害警戒区域安全対策設計書及び組合設立認可申請書を作成した。</p> <p>令和3年度末の都市計画決定を目指して関係機関協議等を進めてきたが、新型コロナウイルスの情勢等により、地権者説明や、県と足並みをそろえて進める必要がある都市計画決定などの関係機関協議に全体的に遅れが生じた。</p> <p>令和4年度は都市計画の手続の開始、環境影響評価における準備書の提出・縦覧の実施、また組合設立認可申請に向けて権利者の同意取得を開始、引き続き権利者の合意形成を進めている状況である。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編入区域面積 41.4ha(予定)</li> <li>・区画整理事業区域面積 38.1ha(予定)</li> <li>・地権者数 240名(令和5年3月31日現在)</li> </ul> <p>【指標の説明】</p> <p>組合設立認可までの工程区分(①発起人会設立、②準備会設立、③施行区域の決定、④事業計画作成、⑤組合設立認可)による進捗割合とし、当該認可の取得をもって100%とする。令和4年度は組合設立認可に向けて権利者の同意取得を開始、認可申請に必要な法定要件を満たす同意を得られたため、90%とする。</p>							

### 3. 事業の課題

課題	令和5年9月の組合設立認可及び認可後の円滑な事業進捗を図るため、同意取得を更に進めていく必要がある。
----	--

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	早期の区画整理事業認可と速やかな工事着手を目指し、引き続き、準備会及び業務代行予定者と協力しながら、事業化を進める。

事業名	商工業務			事業コード	1164001	計画コード	9-2-1	
款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
所属名(部局・課)	市民環境部			産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策	9-2	中小企業・小規模事業者の育成支援						

### 1. 事業の概要

事業の対象	中小企業、小規模事業者、個人事業主
意図・目的	市内中小企業、小規模事業者、個人事業主を支援する。
活動概要	商工会と連携し、市内商工業を発展させる。市内中小企業が事業資金を金融機関から借り入れることができるよう埼玉信用保証協会の保証がある融資を市が依頼するとともに支払利子の1/2を補助する。

### 2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	企業市民認定数	件	151	158	166	160	160	160	
②	利子補給補助件数	件	105	77	62	124	70	70	
③	商工会相談事案件数	件	2,740	1,472	2,146	3,000	2,000	2,000	
④									
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	98,526	22,207	43,849	17,693	不用額
			決算額	千円	98,103	14,769	31,651		12,198
	財源内訳	一般財源		千円	408	10,934	15,054		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	97,695	3,835	16,597		72.2%

成果の説明	<p>市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、融資制度を実施</p> <p>【中小企業融資関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中口資金融資 運営資金4件 設備資金 1件 金額 75,000千円</li> <li>・セーフティネット保証の認定 21件 (中小企業信用保険法第2条第5項、第6項に該当する経営の安定化に支障を生じている中小企業を市長が認定し、信用保証協会の保証限度額の別枠融資を申し込むことができる制度)</li> <li>・中小企業融資利子補給補助金 件数 62件 金額 1,380,895円</li> <li>・工場等の移転利子補給補助金 件数 1件 金額 653,000円</li> </ul> <p>・公衆浴場経営安定化対策資金補助金 (一般公衆浴場の経営の安定を図り、その健全な発展に資するため、市内に一般公衆浴場の設備を設置する経営者が当該設備の設置等に要する経費に対し交付)</p> <p>・交付内容 埼玉県が県要綱に基づき確定した補助金の額の2分の1</p> <p>・交付実績 1事業所 200,000円</p> <p>・運送事業者等支援金 (コロナ禍における原油価格の高騰により影響を受ける市内の中小・小規模企業者の支援を目的として交付)</p> <p>・交付内容 事業用貨物自動車等(普通自動車、大型特殊自動車) 1台につき20,000円 事業用貨物軽自動車等(小型自動車、軽自動車、小型特殊自動車) 1台につき10,000円</p> <p>・交付実績 50事業所 16,060,000円</p>
-------	--

### 3. 事業の課題

課題	市内事業者にとって今後も厳しい経営状態が続くものと考えられるため、市と商工会が連携した支援を行っていく必要がある。
----	---

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	<p>和光市商工会は市内で唯一の商工団体であり、市内の産業振興や商工活動に大きく貢献している。市内商工業の活性化と発展のため、今後も連携を図っていく。</p>

事業名		地域店舗応援プレミアム付商品券交付			事業コード	1165032	計画コード	9-2-2
款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費			
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策		9-2 中小企業・小規模事業者の育成支援						

### 1. 事業の概要

事業の対象	市内在住者、在勤者
意図・目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者の経営の支援及び市内経済の活性化。
活動概要	市内店舗で使えるプレミアム率25%の商品券を300,000枚(30,000冊)販売。

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 市内取扱店舗数	件		224	226	—	—	—	
	② 販売冊数	冊		24,699	30,000	30,000	—	—	
	③ 換金率	%		60	99.6	100	—	—	
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	5,000	0		0	不用額	
	決算額		千円	5,000	0			0	
	財源内訳	一般財源		千円	0	0			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	5,000	0			
成果の説明	<p>プレミアム率25%、額面500円券×10枚綴り(5,000円分)を1冊4,000円で販売し、完売。</p> <p>販売額 120,000,000円  発行額 150,000,000円  換金額 149,429,500円(298,859枚)  未換金額 570,500円(1,141枚)</p> <p>和光市商工会への補助金  執行額 40,546,099円 ※令和3年度分含む  (プレミアム経費分 29,429,500円)  (事務経費分 11,116,599円)</p> <p>【備考】令和3年度予算37,000,000円を令和4年度に繰越明許し、4年度事業として35,546,099円を実施。</p>								

### 3. 事業の課題

課題	商品券の未使用又は未換金が一部発生した。事業者において換金手続きに負担が生じている。
----	--

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	換金率が99.6%となったことから、市内経済の活性化に寄与できたものと認識している。 令和4年度で事業終了。

事業名		キャッシュレス決済ポイント還元事業			事業コード	1166100	計画コード	9-2-3
款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費			
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策		9-2 中小企業・小規模事業者の育成支援						

### 1. 事業の概要

事業の対象	市内在住者、在勤者
意図・目的	キャッシュレス決済の普及と市内経済の活性化による事業者支援、あわせて食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者支援。
活動概要	対象期間中、対象店舗でのPayPay決済で最大30%のPayPayポイントを付与する。

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① キャンペーン参加店舗数	件			297	—	—	—	
	② 決済総額	円			410,350,607	—	—	—	
	③ PayPayポイント付与総額	円			108,750,904	—	—	—	
	④								
	⑤								
費用	事業費		千円			114,211		0 不用額	
	決算額		千円			113,997		214	
	財源内訳	一般財源		千円			65,757		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円			48,240		99.8%

成果の説明	事業実施期間 ・令和4年11月9日～令和5年3月31日
	キャンペーン実施期間 ・令和5年1月5日～令和5年1月31日
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者やキャッシュレス決済初心者などを対象とした講座を計4回開催し、スマートフォンやキャッシュレス決済普及のきっかけづくりを提供できた。</li> <li>新規キャッシュレス決済導入店舗も増えたことから、市内におけるDX推進の促進に繋がった。</li> <li>プレミアム付き商品券事業とは異なり、キャンペーン対象店舗における換金等の手間が大幅に軽減された。</li> <li>ポイント付与(還元)の推移 実施期間のうち、月初では平日で1日当たり約150万ポイント、土日で1日当たり約350万ポイントの還元で推移し、月末には催事や駆込需要もあり、平日で1日当たり約660万ポイント、土日で1日あたり約820万ポイントの還元で推移した。</li> <li>利用の多かった店舗 医薬品・化粧品・ドラッグストア、飲食店・喫茶店、食品販売店</li> </ul>

### 3. 事業の課題

課題	市内経済の活性化に繋がった一方で、決済サービスの都合上、ポイント付与を市内在住者等に限定できなかった。
----	---

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	令和4年度で事業終了。

事業名		新産業創出育成支援			事業コード	1164002	計画コード	9-3-1
款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費			
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策		9-3	魅力ある新たな産業の創出					

### 1. 事業の概要

事業の対象	和光理研インキュベーションプラザ入居企業及び市内事業者
意図・目的	新技術開発等により企業の成長を目指す。また市内事業者と連携を図り事業を発展成功させる。和光理研インキュベーションプラザ卒業後は、市内に定着し、地元での雇用創出を促し、地域の産業を活性化させる。
活動概要	インキュベーションマネージャー3名(中小機構1名、埼玉県1名、和光市1名)を派遣し和光理研インキュベーションプラザ入居企業や地域企業への支援を行う。また、和光理研インキュベーションプラザ入居企業に対して賃料補助を行い経営基盤のサポートを行う。

### 2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	賃料補助件数	件	8	5	4	7	5	5	
②	和光理研インキュベーションプラザの入居企業数	社	24	24	18	28	28	28	
③	国庫補助金等獲得件数	件	35	17	6	25	25	25	
④	和光理研インキュベーションプラザの卒業企業数	社	22	25	30	25	26	38	
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	6,385	5,910	4,228	3,728	不用額
			決算額	千円	6,084	5,312	3,526		702
	財源内訳	一般財源		千円	6,084	5,312	3,526		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		83.4%
成果の説明	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、和光理研インキュベーションプラザの各入居企業も苦しい経営状況であるが、コロナ対策に関する新事業を開始するなど逆境を逆手にとって事業展開している企業もある。</p> <p>インキュベーションマネージャーによる企業間シーズのマッチング、補助金獲得の支援を引き続き行うほか、空き区画へ入居企業を募集するなど和光理研インキュベーションプラザのPR活動も行っている。</p> <p>なお、入居企業2社においては、市内企業の製品の実装化、開発事業及び品質向上のための共同研究等も行っている。</p> <p>また、入居企業のうち1社が令和5年度中に退所し、市内で事業継続する予定である。</p>								

### 3. 事業の課題

課題	和光理研インキュベーションプラザ設置から15年が経過し、『和光新事業創出型事業施設「和光理研インキュベーションプラザ」整備事業に関する覚書』を踏まえ、関係機関による入居企業への支援が変更される可能性があるため、動向を注視するとともに支援内容等について協議する必要がある。
----	---

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	インキュベーションマネージャーや和光市商工会と連携しながら、地域企業への支援を行い活性化を図っていく。 関係機関の支援を踏まえ支援内容を検討するとともに、和光理研インキュベーションプラザを卒業した企業が引き続き市内で事業を行えるよう情報提供、支援を行っていく。

事業名		農業振興業務			事業コード	1161001	計画コード	9-4-1
款	06	農林水産業費		項	01	農業費		
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	農業振興担当	
施策		9-4	都市農業の推進と担い手の育成					

### 1. 事業の概要

事業の対象	農業者、市民
意図・目的	都市農業の安定的な継続を図り、都市農業が有する機能を適切かつ十分に発揮させるとともに、農家集落や農業団体などの組織を活性化させる。
活動概要	市内農業者全体の農業振興事業として、農家集落や農業団体などの組織活性化を促す活動支援を行う。 優良農地を保全するため、農業団体による清掃活動の支援を行う。また、都市部の農業振興及び農業理解を深めるための事業を行う。

### 2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	農家だより配布数	部	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	
②	清掃活動によるごみの量	kg	3,240	3,600	3,120	3,000	3,000	3,000	
③	農業用プラスチック収集処理事業数	回	2	2	2	2	2	2	
④	都市農業支援補助金申請件数	件	30	21	17	20	20	20	
⑤	農業後継者倶楽部事業回数	回	2	2	2	2	2	2	
費用	事業費		予算額	千円	1,086	6,018	6,203	6,200	不用額
			決算額	千円	970	4,717	5,508		695
	財源内訳	一般財源		千円	970	3,616	5,113		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	1,101	395		88.8%

成果の説明	農家だよりに啓発記事を掲載したことにより、農地の管理や良質な営農環境の維持を促すことができた。また、農業者や農業者団体の協力により清掃活動を行った。営農環境の保全を行うことで、農業者の営農意欲の向上に併せ、市民の農地保全の意識が醸成された。	
	農産物に対する安全安心の志向の高まりや生産者の販売の多様化を推進するため、新たな事業を行う農業者及び農業者団体に対して各種支援を実施した。	
	(1)観光農園推進事業 ①観光農園推進	
	じゃがいも	2戸(下新倉地区・丸山台地区)
	とうもろこし	2戸(新倉地区・下新倉地区)
	いちご	2戸(新倉地区・下新倉地区)
	②学校給食への農産物供給	
	農業団体による総供給量内訳	野菜16品 27,317kg トウモロコシ 2,150本 枝豆 915株 味噌 86.7kg
	③農業用廃プラスチック収集処理事業 令和4年8月31日 ポリエチレン類(2,120kg 21戸) 令和5年3月1日 ポリエチレン類(1,000kg 19戸)	

【続きあり】

### 3. 事業の課題

課題	市民の農業への関心が高まる一方、観光農園を実施する農業者が減少しつつあり、市民が農業体験できる機会を新たに検討する必要がある。
----	---

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	農業団体に対して、農業体験への協力を依頼するなど、観光農園を確保するとともに市民の都市農業への理解を向上させる。農業者が今後も農業を続けていきやすい環境を作り、農地及び農業経営環境の保全を図っていく。

(2)都市部における農業経営者の育成、支援及び後継者の相互交流

①和光市農業後継者倶楽部 会員14名

②和光市農業後継者倶楽部による収穫体験の実施

じゃがいも堀体験	
1幼稚園	3保育園

③遊休農地の発生抑制のための花景観形成交流事業

コスモス畑 1か所

(3)近代的でより生産性の高い農業を確立するため、農業制度資金の貸し付けに係る1%以内を利子補給

継続2件 利子補給金額 96,199円

(4)農業経営の改善に取り組む農業者が実施する施設設備、機械導入等の事業に対して補助金を交付

和光市都市農業支援事業補助金 交付件数:17件 交付総額:2,692,000円

(5)農業団体の協力を得て、軽トラックを使用した地元野菜等の移動販売を実施するとともに、地域で生産された農産物等のPRを実施

・軽トラ市 開催数:20回

・採れたて野菜まちかど販売所

牛房コミュニティセンター 開催数:6回、わこらぼまつり 開催数:1回、和光市総合体育館 開催数:1回

事業名		市民農園管理運営			事業コード	1162001	計画コード	9-4-2
款	06	農林水産業費		項	01	農業費		
目		03		農業振興費				
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	農業振興担当	
施策		9-4	都市農業の推進と担い手の育成					

### 1. 事業の概要

事業の対象	市内在住者又は在勤者
意図・目的	都市農業のあり方や実態に対して理解を深める。また、農業を通じた市民との交流を促進する。
活動概要	市内農業者等が講師となる各種農業関連講座及び各種イベントを実施する。また、市民に市民農園の貸し出しを行い、市民農園利用者への農業相談を実施する。

### 2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
①	市民農園面積	m <sup>2</sup>	10,755	10,755	10,275	10,755	10,755	11,000
②	農業指導や講習会参加者数	人	667	750	677	350	700	750
③								
④								
⑤								
費用	事業費		千円	4,374	4,518	4,810	4,800	不用額
	決算額		千円	4,060	4,110	4,693		117
	財源内訳	一般財源	千円	-256	-94	840		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	4,316	4,204	3,853		

成果の説明	優良農地の保全及び都市住民の憩いの場として、市民農園事業を展開し都市と農業の交流を図った。							
	<p>1 市民農園の区画貸し出しと農業体験の場を提供するとともに野菜作り等の講座を実施した。</p> <p>(1) アグリパーク市民農園 15m<sup>2</sup>タイプ/125区画 30m<sup>2</sup>タイプ/280区画 ※キャンセル待ち人数:13名(令和5年3月現在)</p> <p>(2) 市民団体との協働事業として農業体験センター及び市民農園管理を行う。</p> <p>① 農業体験センター及び市民農園管理運営 ② 市農業振興事業補助(農業者・農業者団体との連絡調整、各種事業の受付業務) ③ 個別事業</p> <p>ア 野菜づくり講習会と農業相談 ・農業相談を随時開催 ・農業講座等 10回 151名</p> <p>イ イベント開催 ・市民農園景観立毛品評会 受賞者28名 ・コスモス摘み取り ・若者世代が考える「農」と親しむイベントの代替イベント 新倉七夕飾り</p> <p>ウ 農業体験 ・じゃがいも収穫体験 199名</p>							

### 3. 事業の課題

課題	一部の利用者が管理を怠り、周辺農園の作物に影響が生じることがある。 利用率100%でキャンセル待ちとなっているため市民農園の区画の拡充が必要である。 農業体験センターについては、台風やゲリラ豪雨の際、雨漏が発生するなど、施設等の老朽化による不具合が生じている。
----	--

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	市民農園の適正適切な管理について、周知するとともに、施設の不具合については別途事業を予算化し、修繕管理に努める。今後も市民が都市農業に対して理解をし、農業を通じて交流する場として事業を実施していく。

事業名		労働業務			事業コード	1152001	計画コード	9-5-1
款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	01	労働総務費
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策		9-5	就労支援対策の推進					

### 1. 事業の概要

事業の対象	中高年、身体障害者、在勤者
意図・目的	中高年、身体障害者等の就職促進を図る。 健康で働くことの喜びや充実感を醸成する。
活動概要	【労働業務】求職者の就職促進を図るため関係機関と連携を図り、求人情報等を積極的に発信する。 【技能者表彰】市内事業者で、長年にわたり従事し、技術・技能の向上及び後進の育成等に貢献した者を表彰する。

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 就職面接会等参加人数	人	25	62	129	30	30	30
	② 技能者表彰者数	人	7	5	4	7	7	7
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費		千円	118	187	163	150	不用額
	決算額		千円	117	144	163		0
	財源内訳	一般財源	千円	117	144	163		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0		
成果の説明	<p>【労働業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年11月25日 志木市総合福祉センターにおいて「シニア世代対象就職面接会」を開催 主催 志木市、ハローワーク朝霞、朝霞地区雇用対策協議会 共催 和光市、朝霞市、新座市 参加事業者 13社 参加者 53名</li> <li>令和5年2月17日 和光市民文化センターにおいて「朝霞・和光地域合同就職相談会」を開催 主催 和光市、朝霞市、ハローワーク朝霞、埼玉県 協力 朝霞地区雇用対策協議会 参加事業者 8社 参加者 53名</li> <li>令和5年3月15日 志木市いろは遊学館において「就職準備基礎セミナー」を開催 主催 和光市、志木市、朝霞市、新座市 参加者 23名</li> </ul> <p>【技能者表彰】</p> <p>市内事業者の優れた技術や功績を持ち、後進の育成を図った技能者を表彰し、技術・技能を保有する市内事業者を公表した。 技能功労者 3名 優良技能者 1名</p>							

### 3. 事業の課題

課題	ふるさとハローワークの認知度を向上させる取り組みが必要である。 技能者表彰については対象者を明確に周知する必要がある。
----	--

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	関係機関と連携し就職支援を強化していく。また、働くことへの喜びや充実感を醸成するよう今後も技能者表彰を行う。

事業名		勤労福祉センター管理運営			事業コード	1153001	計画コード	9-5-2			
款	05	労働費		項	01	労働諸費		目	01	労働総務費	
所属名(部局・課)		市民環境部			産業支援課		担当名	産業育成支援担当			
施策		9-5	就労支援対策の推進								

### 1. 事業の概要

事業の対象	市民、在勤者
意図・目的	いつでも気軽に利用でき、日常生活の中で、心身が健康調和で豊かな状態になるようにする。
活動概要	<p>①利用促進を図るため、卓球、ヨガ、ボディシェイプ等の講座を開催する。</p> <p>②アスレチックルームの筋力トレーニングに指導員を配置する。</p> <p>③トレーニング後は入浴・サウナでリフレッシュができるようにする。</p> <p>④会議室、和室を企業が会議等で利用できるようにする。</p>

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 開館日数	日	274	311	328	347	347	307	
	② 自主事業講座開催数	回	347	603	270	300	—	—	
	③ 利用者数	人	16,836	22,799	20,371	20,000	25,000	25,000	
	④ 講座参加者数	人	2,785	4,135	2,062	2,000	—	—	
	⑤								
費用	事業費		千円	43,244	42,287	44,704		23,677	不用額
	決算額		千円	43,242	42,279	42,091		2,613	
	財源内訳	一般財源	千円	42,273	42,279	40,439		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	969	0	1,652			94.2%
成果の説明	<p>令和4年9月30日までは指定管理者であるシンコースポーツ株式会社による運営、令和4年10月1日以降は市の直営により勤労者の福利厚生と市民の健康増進を目的とする施設として運営。</p> <p>・運営方式の変更に伴い、アスレチックジムの廃止をしたが、ジム機器の撤去後のアスレチックルームの有効活用の方法を意見交換会等の実施により利用者の意見を聴取し、利用者のスポーツ・レクリエーションの振興及び健康増進を図るために卓球台と健康器具の設置をした。アスレチックルームは団体登録や事前予約をせずに利用できる。</p> <p>・指定管理者の自主事業として行われていた講座について、運営方式の変更に伴い廃止となったが、講座参加者による団体が6団体結成され、継続して活動をしている。</p> <p>1 利用者 合計 20,371人 (アスレチックルーム 6,860人、アリーナ 9,398人、和室・会議室 4,113人)</p> <p>2 自主事業(指定管理者による) 合計 264回実施 延べ1,970人</p> <p>3 市主催講座 合計 6回開催 延べ92人</p>								

### 3. 事業の課題

課題	アクシスの利用促進を促すため、幅広い周知など認知度の向上に努める必要がある。
----	--

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	民間活力の活用方法を含めた、効率的・効果的な運営について、概ね3年を目途に再検討を行っていく。

事業名		勤労青少年ホーム管理運営			事業コード	1155001	計画コード	9-5-3
款	05	労働費		項	01	労働諸費		
目		02		勤労青少年ホーム管理費				
所属名(部局・課)		市民環境部		産業支援課		担当名	産業育成支援担当	
施策		9-5	就労支援対策の推進					

### 1. 事業の概要

事業の対象	勤労青少年(35歳以下)
意図・目的	社会人として健全に育成している。
活動概要	勤労青少年が趣味、スポーツ、語学等の習得や余暇の活用などに利用できるように、趣味、料理教室等の講座の開催と様々な余暇の活用などのクラブ活動を支援する。また、若年者フリーターや就職困難者等の相談や就職支援講座を実施して就職の支援を行う。

### 2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 講座等開催数	回	1	1	1	3	3	3	
	② 就職相談等支援事業数	回	2	1	1	5	5	5	
	③ 青少年利用者数	人	1,268	1,238	1,258	2,700	2,000	2,000	
	④ 若年者支援参加数	人	17	4	2	60	60	60	
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	18,676	18,718	19,575	18,677	不用額
			決算額	千円	17,911	18,123	19,385		190
	財源内訳	一般財源		千円	17,911	18,123	19,385		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		99.0%

成果の説明	勤労青少年等の交流や充実した余暇活動の促進を目的として「クラフトバンド講座」を開催したところ、他課と事業が重複した。 参加者 5名(うち35歳未満参加者 2名)										
	1 利用者の状況 令和5年3月31日現在										
	(1) 登録団体数 100団体  (2) 利用状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>クラブ</th> <th>特別利用者の利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>258回</td> <td>2,583回</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>1,258人</td> <td>9,939人</td> </tr> </tbody> </table>				クラブ	特別利用者の利用	回数	258回	2,583回	延べ人数	1,258人
	クラブ	特別利用者の利用									
回数	258回	2,583回									
延べ人数	1,258人	9,939人									

### 3. 事業の課題

課題	就職支援に関する講座や相談について、実施内容を工夫する必要がある。
----	-----------------------------------

### 4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	地域のコミュニティの場としての役割が大きいため、勤労青少年の施設利用に支障のない範囲で地域住民の利用を促進していく。また、勤労青少年の利用者増加を図るため勤労青少年ホームの周知を積極的に行う。